

行事予定

2019年(令和元年)9月～2019年(令和元年)12月

【特別展／企画展】

7月15日(月)～10月26日(土)

2019年度西南学院大学博物館特別展I
「明治日本とキリスト教一時かれた種」
[場所] 西南学院大学博物館1階常設展示室、
特別展示室、2階講堂

11月1日(金)～2020年1月25日(土)

2019年度西南学院大学博物館特別展II
「聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—」
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室・2階講堂

【特別展／企画展関連イベント】

9月21日(土) 15:00～16:30

オルガン・レクチャー・コンサート
「日本賛美歌ことはじめ～パイプ・オルガンと歌う明治初期の賛美歌～」
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
[演奏] 安積道也(西南学院音楽専攻・オルガニスト)
※申込不要、参加無料

9月28日(土)、10月5日(土)、10月12日(土) 14:00～14:30

特別展ギャラリートーク
[場所] 西南学院大学博物館1階エントランス
※申込不要、参加無料

11月2日(土) 14:00～16:00

特別展関連公開講座「聖母マリアの神学と芸術」
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
[講師] 下園知弥(西南学院大学博物館教員)
後藤新治(西南学院大学国際文化学部教授)
※申込不要、参加無料

11月4日(月)～11月10日(日)

サテライトパネル展示 in アクロス福岡
[場所] アクロス福岡1階コミュニケーションエリア

11月16日(土) 13:00～14:00

特別展関連公開講演会「ナザレのマリアー「神の母」vs. 母神—」
[場所] 西南コミュニティセンター1階ホール
[講演者] 稲垣良典氏(九州大学名誉教授)
※申込不要、参加無料

【休館】

臨時休館 10月29日(火)～10月31日(木)、12月16日(月)

冬季休館 12月25日(水)、12月28日(土)～1月5日(日)

行事予定は日程、内容等が変更される場合がございます。

西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]、キリスト降誕祭[12/25]、
年末・年始[12/28～1/5]、その他は臨時休館あり

入館料 / 無料

[seinamuseum](https://www.facebook.com/seinamuseum) [@seinan_museum](https://twitter.com/seinan_museum) [@seinan_museum](https://www.instagram.com/seinan_museum)

来館者掲示板

【来館者の言葉】

猫について考えさせられました。支援なども勉強しようと思います。ありがとうございました。(2019年6月)

ネコについてこれほど研究が進んでいるとは思いませんでした。相島にぜひ行ってみたいです。(2019年6月)

山根さんの本、読んだことがあります。ありがとうございました。とても楽しかったです。(2019年6月)



4月から6月にかけて行われた企画展「ねこ学への招待」では多くの方々にご来館いただきました。また同時に開催していたワークショップでは、来館者の方々にネコを見分けるための「個体識別カード」を記入していただき、博物館内がとてにぎやかになりました。

学芸調査員 早田 萌

編集後記

今年度第1回目の特別展「明治日本とキリスト教一時かれた種」は10月26日(土)までの開催となります。その後は11月1日(金)より、さっそく第2回目の特別展「聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—」を開催いたします。本展覧会では、前期と後期で、それぞれ展示作品が変わります。ご来館いただく度に、新しい発見と出会いがある博物館であるよう、様々な取り組みを行ってまいります。

学芸研究員 宮川 由衣

アクセスマップ ACCESS MAP



- 福岡空港 → 西新駅下車...約17分
- 博多駅 → 西新駅下車...約12分
- 天神 → 西新駅下車...約8分
- ※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
- 博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
- 天神 → 修猷館前...約20分
- ※修猷館前バス停から徒歩5分
- 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
- 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
- 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 38 2019.9

◎西南学院大学

所蔵品紹介 【キリスト教文化】旧約全書

資料でみる西南学院の歴史② 修学旅行旧遠足ニ関スル記録

博物館通信 「ねこ学への招待」「教えて！あなたのネコ研究」ほか

展覧会紹介 2019年度西南学院大学博物館特別展II 聖母の美



所蔵品紹介 特集

【キリスト教文化】

旧約全書

大美国聖教会託印 蘇松上海美華書館蔵板
中国 / 1880(明治13、光緒5)年 / 書冊、和綴、活版印刷

幕末期、日本の知識人たちが漢文を読みこなせることを知っていた宣教師たちは、漢訳聖書をひそかに日本に持ち込み、それをもとに布教活動を行いました。本資料は1880(明治13、光緒5)年に中国・上海で刊行された漢訳の旧約聖書です。本書を刊行した美華書館は、1844年にアメリカの長老派教会によってマカオに設立され、その翌年に寧波、1861年には上海と拠点を移しながら、漢訳聖書や伝道文書を数多く刊行しました。美は中国語でアメリカ(美国)、華は中国を指します。

中国における翻訳聖書の歴史は、19世紀前半に活躍したイギリス人宣教師ロバート・モリソン(Robert Morrison 1782-1834)に始まります。モリソンはウィリアム・ミルン(William Milne 1785-1822)と共同で聖書全文の漢訳を行ったほか、中国語辞書を作成したことも知られています。モリソンとミルンの訳は1823年に『神天聖書』として出版されますが、この訳は当人たちにとって不完全なものであり、彼らの死後に改訳が行われました。この改訳の際に起こったのが、Godの翻訳を「神」とするか「上帝」とするか用語論争です。モリソンの翻訳では「神」とされていましたが、このとき多数のイギリス人宣教師は「上帝」がGodの訳としてよりふさわしいと主張しました。一方で、アメリカ人宣教師ブリッジマンは、モリソンの訳を受け継ぎ「神」がよりふさわしいと主張します。最終的に両者の意見は決裂し、イギリスとアメリカはそれぞれ別々の漢訳聖書を出版することになりました。本資料は「大美国聖教会託印」とあるように、アメリカ(美国)の協会が刊行した聖書であるため、Godに相当する名詞に「神」の一字が当てられています。

Godの翻訳以外の箇所でも、翻訳の苦勞が見られる箇所があります。それは、人名・地名の翻訳です。外来語を中国語に翻訳する際は大きく2通りあり、一つは音に字を当てはめる「当て字」、もう一つは意味から漢字を当てはめる「造語」です。現在の中国語で「エデンの園」は「楽園(Lèyuán)」または「伊甸園(Yīdiànyuán)」と表記されますが、本資料では「埃田Aitíán」と表記されています。また、「亞當(アダム)」や「摩西(モーセ)」などの人名の右には一重線が、「所多馬(ソドム)」や「巴比論(バビロン)」などの地名の右には二重線が引かれており、読者の理解を助けています。

学芸調査員 木村 新葉





SEINAN GAKUIN

資料でみる西南学院の歴史

②

修学旅行の行き先は、地域や時代によってさまざまだと思います。西南学院史資料センターが所蔵する「修学旅行及遠足ニ関スル記録」には、1918年～1937年の中等部の遠足と修学旅行の記録が細かく記されています。創立当初の生徒たちは、修学旅行としてどこに向かったのでしょうか。

今回は1934(昭和9)年の修学旅行を覗いてみます。10月24日から3泊4日で、旅費は12円(現在の価値で約2万4千円程度)でした。「九州一周旅行」と題したその旅程は、現代とくらべるとハードなもので、初日の集合時間は午前1時でした。まず現代では考えられない集合時間です。10時間ほどかけて鹿児島に行き、そこから3日間かけて鹿児島市内・霧島神宮・高千穂峰・宮崎市内・別府市内を電車やバスを使って旅行しています。

日記には、西南戦争の戦地に孤軍奮闘破圍還の詩(七言絶句「城山」か)を聞いて一同しんみりしたことや、高千穂峰の登山は七合目から険しく登りづらく、下山の際はたびたび転倒したこと、別府までの列車が退屈だったこと、別府で高台から別府湾を望む景観が飽きないほど美しかったことなど、旅行の所感が細やかに記されています。

記録を読んでもと、現代の修学旅行と変わっているところも多かったですが、昔も今も、生徒が離れた地で多くの学びを得ることは変わらないですね。

学芸調査員 鬼東 芽依



「修学旅行及遠足ニ関スル記録」より昭和9年の記録
所蔵：西南学院史資料センター

「(修学旅行)脚絆を巻き、提灯に菊の紋章」
(1934年10月26日 撮影日
から宮崎神宮にて撮影と推定)
所蔵：西南学院史資料センター



博物館通信

2019年6月から8月にかけて行われた博物館活動や出来事の中からいくつかをご紹介します。

西南学院大学博物館では、4月から6月にかけて開催した研究室訪問シリーズII 山根明弘研究室「ねこ学への招待」の関連イベントとして、ワークショップ「教えて！あなたのネコ研究」を開催し、ネコ調査に用いる個体識別カードの作成を体験しました。来館して頂いた皆様

にご参加頂き、たくさんのネコの情報を皆様と共有し、また私たちの身の回りにはいる動物たちの観察を今後行うための技術を得る機会となりました。今後も西南学院大学博物館では、皆様と共有できるワークショップを企画していきたいと思ひます。

学芸調査員 内野 舞衣



4月1日(月)～6月29日(土)
西南学院大学博物館研究室訪問シリーズII
山根明弘研究室「ねこ学への招待」を開催しました。

4月1日(月)～6月29日(土)
ワークショップ「教えて！あなたのネコ研究」を実施しました。

6月1日(土)～10月上旬
南島原市サテライト展示(原城図書館)
「海を渡った印刷文化—ヴェネツィアから加津佐へ—」を開催中です。

6月18日(火)～7月9日(火)
公開講座／西南コミュニティーカレッジ
大学博物館提供講座「明治日本とキリスト教」を実施しました。

7月15日(月)～10月26日(土)
2019年度西南学院大学博物館特別展I
「明治日本とキリスト教—蒔かれた種—」を開催中です。

展覧会紹介

次回開催

2019年度 西南学院大学博物館特別展II

聖母の美

諸教会における
マリア神学と
その芸術的展開

会期／2019年11月1日(金)～
2020年1月25日(土)

【前期展示】2019年11月1日(金)～12月14日(土)
【後期展示】12月17日(火)～2020年1月25日(土)

会場／西南学院大学博物館 1階特別展示室・2階講堂
主催／西南学院大学博物館
後援／福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・
公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
協力／聖カタリナ大学・福岡女学院大学図書館・
九州産業大学図書館

展示構成

- 第1章 神の聖母よ、われらのために祈りたまえ
ORA PRO NOBIS SANCTA DEI GENITRIX.
- 第2章 近代における聖母崇敬の継承と発展
 - 1節 プロテスタントにおける聖母崇敬
 - 2節 カトリックにおける聖母崇敬
- 第3章 非西欧圏における聖母崇敬
 - 1節 正教会におけるイコンと聖母
 - 2節 フィリピン人の聖母
 - 3節 メキシコの聖母
 - 4節 キリシタンと聖母
- 第4章 現代の聖母芸術—A・カルペンティエールの聖母

関連イベント(参加無料・申込不要)

公開講座 「聖母マリアの神学と芸術」

日時／11月2日(土) 13:00～14:30
会場／大学博物館2階講堂
講師／下園知弥(西南学院大学博物館教員)
後藤新治(西南学院大学国際文化学部教授)

公開講演会 「ナザレのマリア—「神の母」vs. 母神—」

日時／11月16日(土) 13:00～14:00
会場／西南コミュニティーセンター1階ホール
講演者／稲垣良典氏(九州大学名誉教授)

クリスマスミニコンサート&ナイトミュージアム

日時／12月17日(火) 17:30～17:45
※当日は20:00まで延長開館
会場／大学博物館2階講堂
演奏／西南学院大学ハンドベルクワイア

サテライトパネル展示 in アクロス福岡

期間／2019年11月4日(月)～11月10日(日)
会場／アクロス福岡1階コミュニケーションエリア

聖母マリアは、キリスト教世界においてとりわけ親しまれ、崇敬されてきた存在の一つです。キリスト教は、その長い歴史の中で、聖母を主題とした数多くの芸術作品を生み出してきました。それらの芸術作品は、時代や地域によって異なる多様性を示す一方で、聖母にまつわる神学、すなわちマリア神学(Mariology)を共通の土台としています。喩えるならば、一本の大木の根と幹、そして幾重にも分かれた枝がマリア神学であり、そこに咲いている美しい花々が聖母の芸術なのです。本展覧会では、聖母マリアを主題とするさまざまな芸術を、神学思想と共に辿っていくことで、聖母の美の多様性と普遍性に迫ります。



せいなんワークショップ 参加無料、要申込(先着順)

●こどもワークショップ「クリスマスツリーをつくろう！」

■日時／12月7日(土) 14:00～15:30
■対象／小学生 ■定員／20名
【申し込み方法】
必要事項を記入の上、メールにてお申し込みください。
●宛先/seinmuseum@yahoo.co.jp
●件名/こどもワークショップ「クリスマスツリー」申込
●内容/①氏名(ふりがな) ②年齢 ③小学校名・学年
④保護者氏名・続柄 ⑤緊急連絡先電話番号 ⑥メールアドレス
●申込締切/2019年11月22日(金)

●おとなワークショップ 「カリグラフィでクリスマスカードづくり」

■日時／12月14日(土) 14:00～16:00
■対象／一般(中学生以上) ■定員／10名
【申し込み方法】
必要事項を記入の上、メールにてお申し込みください。
●宛先/seinmuseum@yahoo.co.jp
●件名/おとなワークショップ「クリスマスカード」申込
●内容/①氏名(ふりがな) ②年齢 ③メールアドレス ④電話番号
●申込締切/2019年12月6日(金)

プレゼント企画

期間中、アンケートにお答えいただいた方にオリジナルクリアファイルをプレゼント!
※数量限定のため、なくなり次第終了となります。